

# サイドローディングガイド

第7版

## 1. 目次

サイドローディングガイド .....	1
1. 目次.....	2
2. インストール前の準備 .....	3
3. インストール手順.....	3
1 事前設定.....	3
2 installer.exe を実行します.....	7
4. アンインストール手順 .....	9
uninstaller.exe を実行します .....	9
5. こんなときは.....	10
6. 付録.....	13
ファイル構成.....	13

## 2. インストール前の準備

- ・ インストーラを実行する前に、必ず「1 事前設定」を行ってください。  
(一度すでに行われている場合には、不要です。)
- ・ サイドローディングでインストールする環境に、すでに新しいバージョンがインストールされている場合には、インストールは終了しますが古いバージョンで上書きは行われません。

旧バージョンをインストールしている場合、アンインストールはせずに「上書きインストール」でアプリをインストールしてください。

## 3. インストール手順

### 1 事前設定

グループポリシーですでに運用がされている場合、グループポリシーの設定により Windows ストアアプリの利用を許可していただく必要があります。必ず顧客のグループポリシー管理者（ネットワーク管理者）にご相談ください。

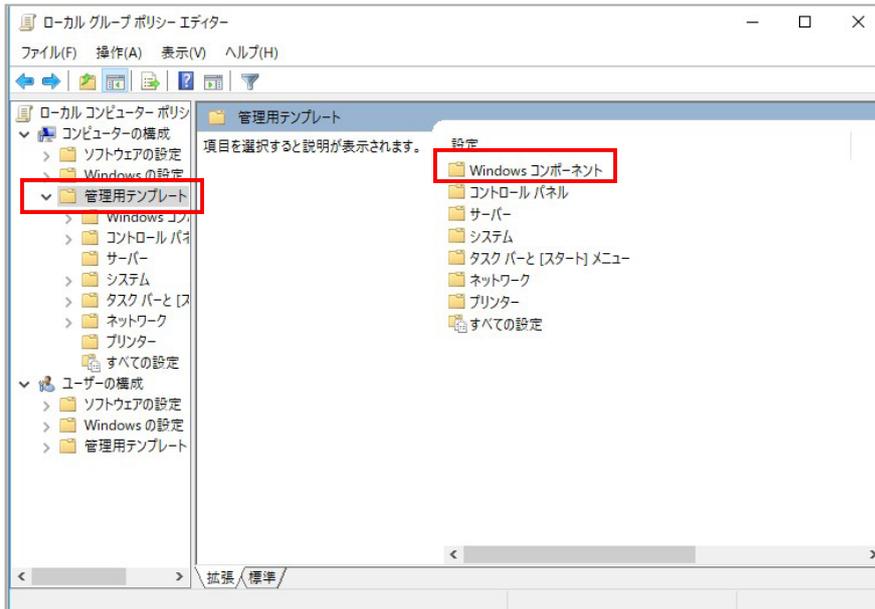
アプリのインストールの許可設定

グループ ポリシーを使って PC をサイドローディングが実行できる設定にします。

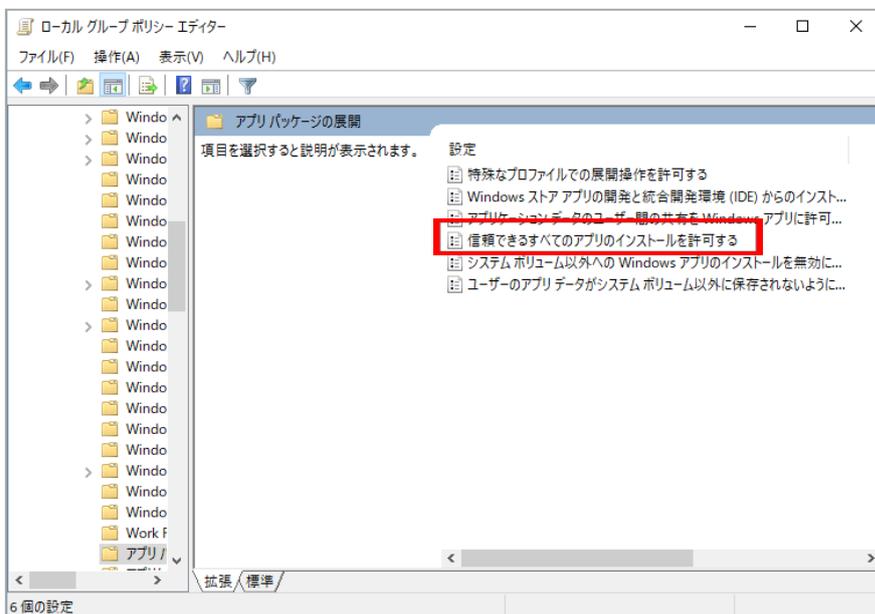
1. コマンドプロンプト から ローカルグループポリシーエディターを起動します。

```
gpedit.msc
```

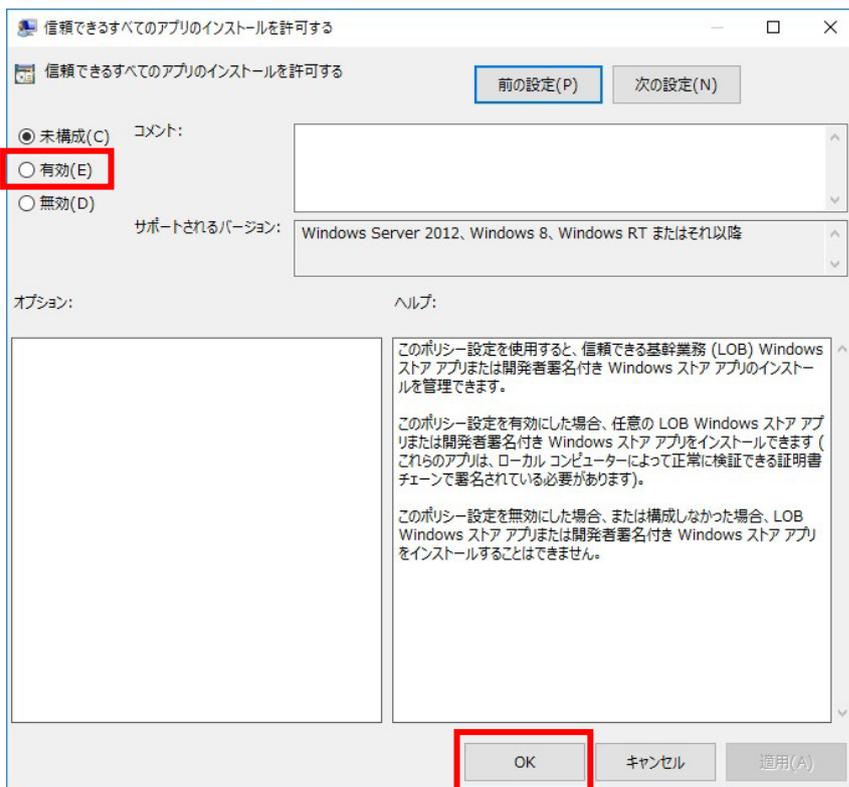
2. [コンピューターの構成] > [管理用テンプレート] > [Windows コンポーネント] > [アプリパッケージの展開] を順にタップあるいは、ダブルタップします。



3. [信頼できるすべてのアプリのインストールを許可する] をダブルクリックします。



4. [有効] を選び、[OK] ボタンをクリックします。



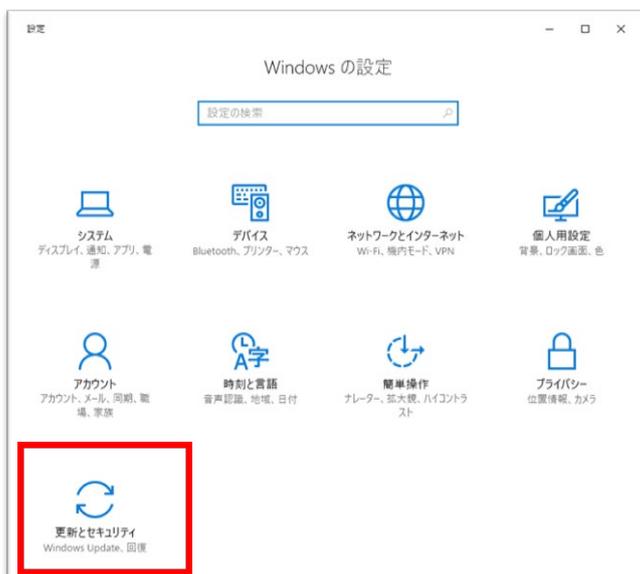
## 開発者向け機能の設定

Windows の設定画面でサイドローディングを許可します。

※ 「Windows 10 バージョン 2004」以降では、開発者モードが有効化済みになっています。

以下の1~4の操作は必要ありません。

1. [スタート] > [設定]  を選びます。
2. [Windows の設定] の [更新とセキュリティ] を選びます。

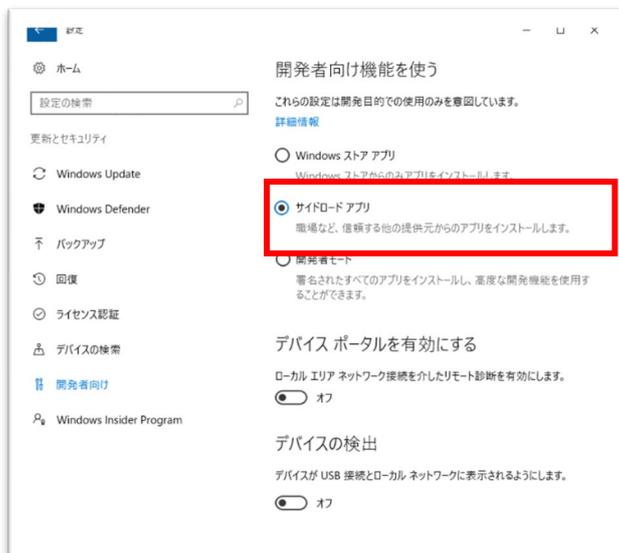


- 画面左側のサイドバーの「開発者向け」を選びます。



- 表示された画面の「開発者向け機能を使う」の「サイドロード アプリ」をオンにします。

※Windows 10 バージョン 2004 以降をお使いの場合は、開発者向けの「サイドロード アプリ」の設定は初期値がオンになっています。



## 2 installer.exe を実行します

1. zip ファイルを解凍して、展開したフォルダ内の installer.exe を実行します。
2. インストーラのウィンドウが開き、下記のメッセージが表示されます。

インストール対象を選択してください

1. 現在のユーザー
2. 全てのユーザー（要管理者権限）

1 または 2 を入力してください：

選択肢：1. 現在のユーザー

今ログオンしているユーザーにだけ、インストールしたい場合

選択肢：2. 全てのユーザー（要管理者権限）

このコンピュータにログオンするユーザー全てにインストールしたい場合

選択肢を選ぶとインストールを実行してよいかの確認メッセージが表示されます。

選択肢に間違いがなければ、"y" を、違う場合は "n" を入力してください。

ご利用端末に Microsoft Store の証明書がインストールされていない環境では「現在のユーザー」を対象とする場合でも、Microsoft Storeの証明書のインストールが行われるため、初回インストール時に管理者権限が必要になります。

3. 選択肢：1 を選んだ場合は、開いているインストーラのウィンドウの上側に緑色の [展開処理の進捗状況] が表示されてインストールが開始されます。

インジケータ（ [oooooooooooooooooooo] ）が最後まで終われば、

インストールは完了です。あとはいずれかのキーを押して終了してください。

スタートメニューにアプリケーションが登録されているのをご確認ください。

4. 選択肢：2 を選んだ場合は、システムから管理者権限で実行する関連の確認メッセージが表示されますので、 [はい] を選んでください。

管理者権限が無い場合には ID / PW の入力を求められますので、管理者権限を持つユーザの ID / PW を入力して下さい。

インストールが開始されます。

別ウィンドウで下記のメッセージが表示されたらインストールは完了です。

展開イメージのサービスと管理ツール

バージョン: x.x.xxxx.xxxxx

イメージのバージョン: x.x.xxxx.xxxxx

操作は正常に完了しました。

注) インストールには少々時間がかかります。

「イメージのバージョン: x.x.xxxx.xxxxx」で、しばらくカーソルが点滅した状態となりますが、メッセージが表示されるまでお待ちください。

ウィンドウが自動で閉じると、最初のインストーラの画面に戻りますので、いずれかのキーを押して終了してください。

これでインストールは完了です。

スタートメニューにアプリケーションが登録されているのを確認してください。

注) 環境によってはスタートメニューにアプリが表示されるのに時間がかかる場合があります。その場合は、`installer.exe` を再度実行し、上記の3 「現在のユーザー」へのインストールを実行してください。

## 4. アンインストール手順

### uninstaller.exe を実行します

1. zip ファイルを解凍して、展開したフォルダ内の uninstaller.exe を実行します。
2. アンインストラーのウィンドウが開き、下記のメッセージが表示されます。  
アンインストール対象を選択してください。

1. 現在のユーザー
  2. 全てのユーザー（要管理者権限）
- 1 または 2 を入力してください：

選択肢：1. 現在のユーザー

インストール時に選択肢：1 を選んだ場合

選択肢：2. 全てのユーザー（要管理者権限）

インストール時に選択肢：2 を選んだ場合

3. 選択肢：1 を選んだ場合は、開いているアンインストラーのウィンドウの上側に緑色の「展開処理の進捗状況」が表示されてアンインストールが開始されます。

インジケータ（ [oooooooooooooooooooo] ）が最後まで終われば、  
アンインストールは完了です。あとはいずれかのキーを押して終了してください。

スタートメニューからアプリケーションが削除されているのをご確認ください。

4. 選択肢：2 を選んだ場合は、システムから管理者権限で実行する関連の確認メッセージが表示されますので、[はい]を選んでください。

アンインストールが開始されます。

環境に複数の MetaMoj 製品 がインストールされている場合は、アプリ名の一覧が表示されますので、アンインストールを行うアプリケーションを指定してください。

別ウィンドウで下記のメッセージが表示されたらアンインストールは完了です。

展開イメージのサービスと管理ツール  
バージョン: X.X.XXXX.XXXXX  
イメージのバージョン: X.X.XXXX.XXXXX  
操作は正常に完了しました。

**注「全てのユーザー」でアンインストールした場合、その実行ユーザを含め、個別のユーザーが利用中のアプリはアンインストールされません。  
その場合はユーザー毎に uninstaller.exe を再度実行し、上記の 2 で「1. 現在のユーザー」を選び、アンインストールを実行してください。**

## 5. こんなときは

### サイレントインストールを実行したい場合

installer.exe および uninstall.exe には下記の起動オプションを指定できます。

- /S 処理中の画面および確認メッセージを表示しません。
- /TL インストール対象を「現在のユーザー」にします。( /TA との併用不可 )
- /TA インストール対象を「全てのユーザー」にします。( /TL との併用不可 )
- /P 対象の製品を指定します。

installer.exe では .appxbundle のファイル名を指定します。

uninstaller.exe で「現在のユーザー」を対象にする場合は、PackageFullName を指定します。

uninstaller.exe で「全てのユーザー」を対象にする場合は、PackageName を指定します。

注) uninstaller.exe の /P に指定する名称は PowerShell 上から下記のコマンドを実行して確認します。

- ・ PackageFullName の確認方法  
Get-AppxPackage | Where-Object{\$\_PackageFullName -match ".\*MetaMoji.\*"}
- ・ PackageName の確認方法  
Get-AppxProvisionedPackage -online | Where-Object{\$\_PackageName -match ".\*MetaMoji.\*"}

操作手順と引数の指定方法の一例を示します。

- (1) エクスプローラで installer.exe / uninstaller.exe の場所を開きます。
- (2) [ファイル - Windows PowerShell を開く] から PowerShell を起動します。

注) 「全てのユーザー」を実行する場合には [Windows PowerShell を管理者として開く] で実行するとインストール実行中の権限昇格が不要になります。

- (3) コマンドを入力して実行します。

[例] ( 指定している appxbundle 名 や PackageFullName は参考例です。  
読み換えて指定してください。 )

```
¥installer.exe /S /TA /P BizSAV3-SL-3.7.11.0-ALL-20180309-1.appxbundle
```

```
¥uninstaller.exe /S /TL /P
```

```
MetaMojiCorporation.MetaMojiShareforBusinessVer.3_3.7.11.0_x64 e2xj4ej6sxak0
```

※グループポリシーのログインスクリプトからインストーラーを呼び出す場合などにも使います。

## インストーラ/アンインストーラをネットワークドライブ上に配置している場合

[全てのユーザー] の選択肢で、インストーラ/アンインストーラがネットワークドライブ上に配置している場合にうまく実行できない場合は、下記の操作手順で実行してみてください。

・ エクスプローラから実行する場合

(1) エクスプローラで installer.exe / uninstaller.exe のフォルダを開きます。

→ ID/PW を入力

(2) installer.exe / uninstaller.exe を右クリックして「管理者として実行」を選択します。

・ PowerShell から実行する場合（コマンドライン引数を渡す場合）

(1) PowerShell を「管理者として実行」を選択します。

(2) PowerShell 上で以下のようなコマンドを実行します。

net use <パス> → ID/PW を入力

cd <パス>

注) <パス>はインストーラのあるフォルダの UNC パス です。

[例] net use \\<computer name>\<zip ファイルを解凍した installer.exe / uninstaller.exe のフォルダ>

(3) PowerShell から installer.exe / uninstaller.exe を実行します。

[例] .\installer.exe /S/TA

## インストール/クライアントアプリケーションがうまく起動できない場合

・ インストールに失敗する場合、

下記にログが出力されています。

各ログファイルを参照いただき、エラーの内容に合わせてインストール環境や操作に間違いがないかを確認して、再度実行を行ってください。

・ installer.exe を実行したフォルダ内に「install\_log.log」が出力されています。

・ uninstaller.exe を実行したフォルダ内に「uninstall\_log.log」が出力されています。

・ C:\Windows\Log\DISM\dism.log が出力されています。

(「全てのユーザ」を選択した場合のみ)

それでも解決できない場合は、

下記のログファイルとエラーとなっている画面のスクリーンショットもしくはアプリケーションが起動できない状態の画面のスクリーンショットをお送りください。

・ installer.exe を実行したフォルダ内に出力された「install\_log.log」

・ uninstaller.exe を実行したフォルダ内に出力された「uninstall\_log.log」

・ C:\Windows\Log\DISM\dism.log (「全てのユーザ」を選択した場合のみ)

・ インストール中にエラーとなった画面のスクリーンショット

・ アプリを起動して、起動できない画面のスクリーンショット

・ Windows のバージョン

連絡先：担当営業とライセンス事務局 (info\_ep@metamoji.com) 宛にお送りください。

## 環境復元ソフトと組み合わせて使用する場合の注意点

本アプリは、初回ログイン時に初期化処理が実行されるため、一度もログインしていない状態を復元ポイントにして展開すると、毎回の使用時に初期化処理が実行されてしまいます。

そのため、復元ポイントを設定する前に必ず以下の操作を行ってください。

- (1) アプリを起動します。
- (2) カメラへのアクセスを求められた場合は、許可します。
- (3) 任意のユーザーアカウントでアプリにログインします。  
(ユーザーアカウントは管理ツールで作成します。詳しくは管理者ガイドをご覧ください。)
- (4) アプリの初期化処理が終了するのを待ちます。
- (5) アプリからログアウトします。
- (6) アプリを終了します。

## 6. 付録

### ファイル構成

- ・インストーラの基本的な構造は以下になります。

インストールに失敗した場合に、以下のファイルが存在するかご確認ください。

.¥installer.exe : PowerShell 起動用実行ファイル

.¥install\_mmj\_products.ps1 : インストーラ本体の PowerShellScript

.¥xxxx.appxbundle : アプリ本体の .appxbundle

.¥Dependencies¥xxx... : アプリの依存モジュールの配置フォルダ

※ installer.exe と install\_mmj\_products.ps1 は同階層に置く必要があります。

.appxbundle と Dependencies は installer.exe 以下の同階層に置く必要があります。

以下のように製品毎に.appxbundle のフォルダを分けて複数製品を配置した場合はインストール時に.appxbundle の選択を求められます。

.¥installer.exe : PowerShell 起動用実行ファイル

.¥install\_mmj\_products.ps1 : インストーラ本体の PowerShellScript

.¥アプリ A¥xxxx.appxbundle : アプリ A 本体の.appxbundle

.¥アプリ A¥Dependencies¥xxx... : アプリ A の依存モジュールの配置フォルダ

.¥アプリ B¥xxxx.appxbundle : アプリ B 本体の.appxbundle

.¥アプリ B¥Dependencies¥xxx... : アプリ B の依存モジュールの配置フォルダ

- ・アンインストーラの構成は構成は以下になります。

.¥uninstaller.exe : PowerShell 起動用実行ファイル

.¥uninstall\_mmj\_products.ps1 : アンインストーラ本体の PowerShellScript

※ uninstall.exe と uninstall\_mmj\_products.ps1 は同階層に置く必要があります。

2022年2月1日 ©2022 株式会社 MetaMoji